

## プロムナードの回顧録

パームツリー、焼肉よしの、ビレッジヴァンガード、こんな名前をきいて懐かしがる方はきっとたくさんいるでしょう。ベイタウンに初めて住み始めた人たちが入居して街に出たとき、プロムナードに並んでいたお店の名前です。

当時のプロムナードはどんな様子だったのでしょうか。怪しくなってきた記憶を頼りに1997年3月の頃のプロムナードを再現してみました。といっても今となっては写真もなく、欠落しているお店の名前もあります。読者の中に記憶している方や写真をお持ちの方はベイタウンニュースにお知らせいただければ幸いです。少しずつ情報を加えて街の移り変わりを残しておければと思います。【松村】



左にコロラド、右にファミリーマート。当時のプロムナード入り口の景色は今も変わらない。

街開きの頃、プロムナードの入り口は1、2番街の交差点でした。当時はまだ東の街とセントラルパーク・ウエストのある場所は芝生の原で、入居した頃はヒバリの鳴き声がうるさく聞こえるほどでした。当時街の入り口にあったのは1番街コロラドと2番街のファミリーマート。今と同じです。人通りは少ないけれど、ここでの風景は今とそう大きな違いはなかったでしょう。しかし少し街の中に入っただけで様子は今とは大きくちが

います。1番街の京葉銀行の隣には「ギャラリー・ピア・ワン」そしてその隣は、松たか子主演の「四月物語」の舞台となった「ビレッジヴァンガード」がありましたが、当時はまだ「みしま」という店舗名だったようです。

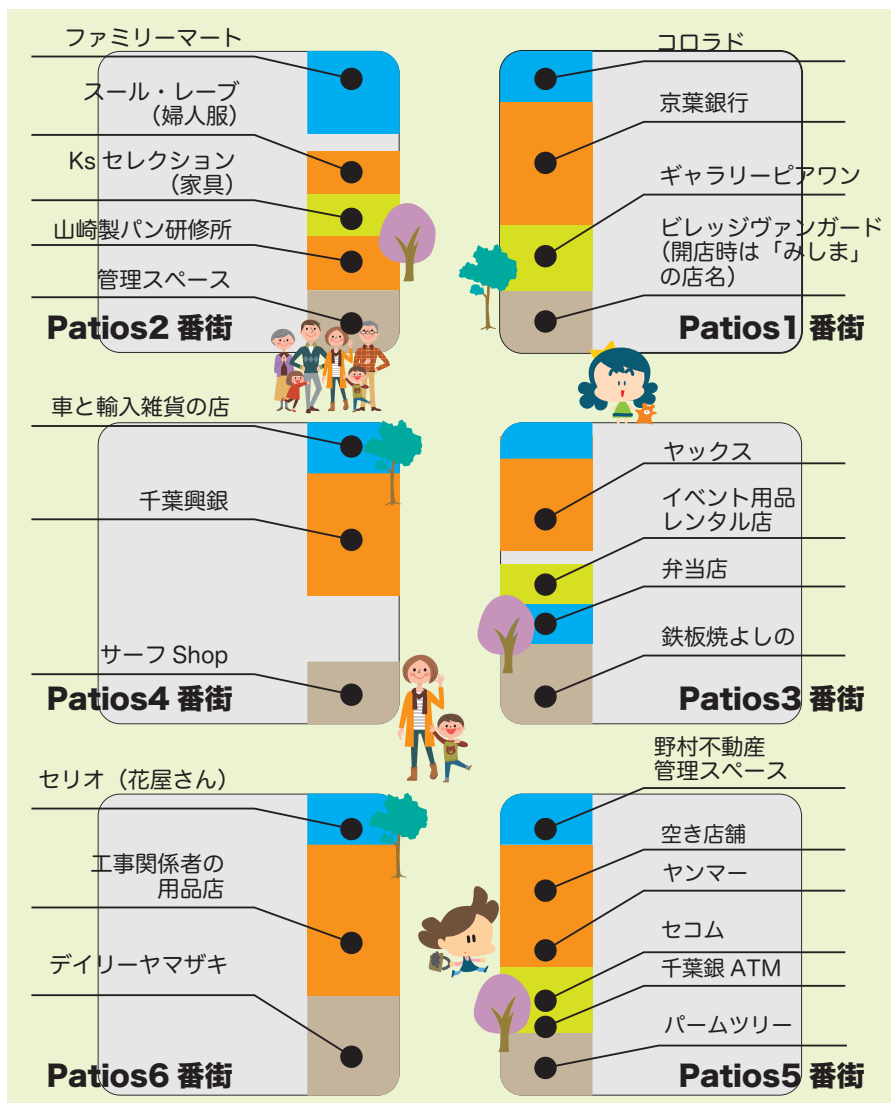
2番街には輸入家具のお店に並んで小さなパン屋さん。でもよく見ると「山崎製パン研修所」とあります。そしてその隣は空き店舗です。後にこの空き店舗は管理するディベロッパーさんの好意で自治体連合会に無償で貸与され、街の掲示板としてプロムナードを通る人の重要な情報源になりました。先日閉店した「洋」が入るのは更にその後です。4番街のセオサイクルの場所は最初は自動車部品や輸入雑貨を扱うお店がありましたが、すぐに閉店になったようです。その隣の郵便局と京葉学院の場所は、2ブロック分を千葉興銀が占めていました。現在京葉学院が入る6番街に面した端にはサーフShopがありました。

3番街も今とは大きく違っていました。番街エントランスを過ぎると、今も当時と変わらずヤックスがありましたが、その隣にはイベント用品のレンタルショップがお店を出していました。でも看板はあったものの、営業している様子を覚えているという人がほとんどいない不思議なお店でした。そのお隣には弁当店がありましたが、こちらもすぐに閉店になったようです。後にチンタンタンが入る場所には「鉄板焼 よしの」。子ども好きで小学生たちに沢山のファンがいたオーナーシェフの出すハンバーグと鉄板焼きのランチ定食は絶品でした。5番街の現在のジャイネパールとその隣の場所は野村不動産が管理する空き店舗、そしてヤンマーは当時も今と変わらず多くのお客さんがいました。その隣2件をまたいで現在の「みすずユナイテッド」の場所には雑貨店のパームツリー。このお店も人気が高く、後に4番街に移りました。

記憶が不確かなのは6番街。4番街に面した端にはセリオ（花屋さん）があり、11番街に面した端には現在と同じくデイリーヤマザキがありましたが、その中間のエルドロードの場所に何があったのかハッキリしません。一説によるとまだマンション建設がつづくベイタウンで工事関係者が道具や用品を補うための建築雑貨店があったという話がありますが、確実ではありません。

という訳で今回は不確かな部分が多く暫定版仕様の公開となりましたが、今後読者のみなさんの写真や情報を加えて、お店の移り変わりでベイタウンの歩みを再現できたらと思っています。

もし当時の写真や情報をお持ちの方がいたら、ベイタウンニュース編集局までお知らせください。(mazmbtn@gmail.com 松村までお願いします。)



# ベイタウンの防災を考える

「大地震になってもベイタウンには消防車が来てくれないって本当ですか?」。以前から気になっていた、こんな質問を昨年千葉県知事から表彰された自治会連合会の防災委員会で委員長を務める吉田一成さんにしてみました。

「はい。すぐには来てくれません。ベイタウンは他の街よりも安全性が高いので、逆に災害救助の優先順位は低いからです」こんな明確な答が返ってきました。うーん。安全な街だから助けに行く必要性が低いとは。ベイタウンには他の地区とはちがった防災の取り組みが必要ということでしょうか。近未来都市における防災とは、吉田さんにじっくりと聞いてきました。【松村】



意外にも吉田さんが防災に関わるようになったのは、「なかば仕方なく」だそうです。5年前の2016年パティオス11番街の管理組合役員に順番で選ばれ、役目で自治会連合会の会合に出席するようになり防災担当になったのが、本気で防災のことを考えるようになったきっかけです。千葉県知事賞へのエントリーは昨年2020年に防災委員会の委員長になって、初めての応募でしたが見事に受賞。県内では5,000以上の防災組織が一度は受賞したいと願う賞を初めてのエントリーで受賞した吉田さんは、防災の専門家でもなく私たちと同じ「街のおじさん」だったのです。何だか勇気づけられません?

そんな吉田さんですが、今は防災が天命というほどの熱意で活動に取り組んでいます。現在の目標はベイタウン版の防災マニュアルを完成させること。冒頭の質問でも出たように、消防車が来てくれない街では自分達で街を守るしかありません。他の地域では電柱が倒れたり、家屋がつぶれた

りという災害特有の被害が起きているのに、ベイタウンでは電柱はなく、建物も一戸建てがなく耐震性の強いマンションで、しかも火災のときにも基本的には上方向への延焼のみを考えればいい構造で、災害に強いのです。

そのためベイタウンへの救助活動は後回しになるので、しばらくは自分達で凌ぐということになり、役所からの支援に依存しない独自の防災マニュアルが必要になるといわけです。これは防災を最初から考え直すことになり、大変なことですが、ある意味では幸運でした。他の街では役所が作成した典型的な防災マニュアルがあり、防災担当者はまずそれをひな形にしてマニュアルをつくります。これは一見効率的に見えますが、細かい所に目が届かず、机上のプランになりがちです。

ところがベイタウンではその標準マニュアルが通用しないため、最初から作ることになり、地域に合ったマニュアルができてくるのです。千葉県知事からの表彰でも

この独自性が大きな受賞理由になりました。

しかし実際のマニュアルはそう簡単ではないようです。問題は、自治会連合会ではカバーできない組織や建物が多くあり、街全体の防災プランが描けないこと。ベイタウンでは災害時には5つの避難所(4つの学校と公民館)が設けられますが、被災して着の身着のまま避難所に来る人を、自治会に属していないからとか、マンションでないからと拒むことなどできません。このため防災委員会では街のすべての住居や施設と連絡を取り、災害時の対策を打ち合わせたいと考えていますが、情報集めも進まないのが現状だといいます。「せめてベイタウンニュースを読んで、自分の住むマンションはどうなのだろう、と考えてくれる人が一人でもいれば」というのがインタビューを通して聞かれた吉田さんの言葉でした。

難しい問題ですが、どうすれば前に進むのでしょうか。吉田さんのやり方。それは本人の言葉を借りると「チョロチョロと動くこと」だそうです。これまではこういう問題があると、すぐに大上段に構えて役所と交渉し、「なぜ支援が遅れるのか」とこちらの要求をネジ込ませようとするのですが、吉田さんは少し違うようです。分からないことや希望があると、すぐに市役所に足を運び、下の職員ともよく話し、フットワークよく動いて相手の目に留まるようにする。この方法で千葉県知事賞へのエントリーのときも情報を集めたりしていると、市の職員が応募書類の書き方を教えてくれたり、県庁の職員を紹介してくれたりと自分のことのように協力してくれたそうです。こんなソフトパワーが災害に強い街、ベイタウンをつくります。

## ベイタウンに春が来た

この時期になると気になるのがサクラの開花時期です。ベイタウンでは打瀬3丁目公園(スポーツ公園)の河津ザクラがいつも最初に花をつけます。今年も2月の下旬から足を運び、つぼみが膨らむのを見ながら毎日カメラを向けていましたが、2月の12日になって、やっと1輪咲きました。気象庁の開花宣言は5~6輪が条件なので開花宣言とはいきませんが、待ちくたびれた開花です。

咲きそろうのを待って、下旬に行くと写真のように8分咲きくらいの花がっていました。

写真の河津ザクラはテニスコートの傍にあり、テニスを楽しむ人をバックにフェンス越しに写真が撮れるので、毎年春の訪れの写真とし



# 打瀬小学校 卒業研究発表会

私は今大学1年生で、打瀬小学校の卒業生です。打瀬小学校では、毎年6年生が6月頃から「卒業研究」に取り組んでいます。6年生が自分の選んだテーマで様々なことを調べ成果を発表するもので、小学校の総合学習の集大成といえるものです。私の弟は今年小学校6年生で、卒業研究を行っています。毎年2月に発表会が行われていますが、今年はコロナウイルスの影響もあり例年とは異なる形で実施されていたので取材しました。【石原】

卒業研究は打瀬小学校の総合学習、「うたせ学習」の最後の学習です。創立時から行われており、自分の設定したテーマで研究を進め2月の発表会で1人10分の発表時間で調べたことや学んだことを発表します。また、A4の5mm方眼の原稿用紙1枚分に研究内容をまとめ、これを学年全員分集めた紀要が卒業時に配られます。学校には過去の紀要も置いてあり、生徒はいつでも読めるようになっています。

私は「1000m走を速く走るには？」というテーマを設定し卒業研究に取り組みま

した。打瀬中学校の陸上競技部を見学したり、企業が主催するマラソン大会に出たりしながら研究を進めました。タイムが縮まったことは成果ですが、それ以上に研究の過程がこの学習の根幹だったように感じます。

小学校の卒論なので大学のものとは異なりますが、卒業研究は自分でテーマを設定し、将来に繋がる研究です。私は苦手なことを克服し、得意にするためのテーマ設定でしたが、夢の実現のための先行研究や、得意なことを更に深めるための研究という

ように、各生徒が自由にテーマを設定できていました。ただ今年はコロナウイルスの影響で研究の開始が10月からだったため、苦手なことを克服するテーマに制限されています。研究の成果が出づらいことが理由だそうです。

卒業研究の発表会もまた、例年とは異なる方式になっています。私が発表した7年前は、クラスを超えて6年生全体で発表会を行い保護者も見学する形で行われていました。各自スライドや映像、実演等を交えながらの発表です。私は発表会初日の1番手でとても緊張したのを覚えています。今年は保護者の見学はなく生徒のみ参加する形で発表会が行われています。保護者は生徒の発表を直接見ることはできませんが、SDカードを生徒が持参することで、ビデオ撮影したデータを家で見られるようになっています。また発表では、キューブキッズと呼ばれる小学校向け教育用ソフトにあるスライド作成の機能を用いています。これはマイクロソフトオフィスのパワーポイントと似ており、プレゼンテーション用の資料を作成できるものです。パソコン上での資料作成は社会人になってから必要になるスキルでしょう。

私は今大学生です。講義はオンラインが多く、レポートの提出が多かったですが、卒業研究で学んだまとめ方が活かされたように感じます。当時は研究テーマ以外に得られたものは少ないと感じていましたが今改めて振り返ると様々な点で今の自分に繋がっていると実感します。創立から伝統である卒業研究がこれからも続くことを期待したいです。

です、不健康な遊びという昔のイメージとは大違いです。

「絆」という多目的に使える施設ができたおかげで、ペイタウンライフを楽しもうという場が充実してきました。人は周囲の人との結びつきを感じると、今住んでいるこの世界が大切に思えてくるのではないのでしょうか。コロナ禍でなんとなくお互いに物理的な距離をとらされてしまいましたが、心と心の距離は「密」大歓迎です。

## ペイタウンに新しいコミュニティスペース「絆」誕生

昨年、パティオス11番街にコミュニティスペース「絆」が、幕張ペイタウン商店街振興組合によってオープンしました。住民が気軽に参加して交流できる催しがいくつも始まっています。【小原】

**春の吊るし飾り～一緒に作ってみませんか**  
第一回は2月にお試しイベントとして開いたので宣伝しませんでした。次からは誰でも予約なしに参加出来ます。

吊るし飾りとは、写真にあるように様々な小さな飾りや人形をつなげて吊るす、春を彩る飾りです。「絆」の入口に飾ってあるので眺めて見て下さい。教えてくれるのは千葉市あんしんケアセンター磯辺の清水直美さん。みんなが気軽に集まれる場を作り、協力してできた飾りでペイタウンの街を春らしく彩るといって一石二鳥の企画です。

お子さんから高齢者まで誰でも歓迎。体験に必要な物品は用意してあります。不器用で針と糸でちくちく縫うのは苦手だわ、とためらう人もいるかもしれませんが、実際初心者が作るのは「ちりめん玉」。小さな発泡スチロールの玉に接着剤を塗り、ちりめんというきれいな和布を貼り付けて余った部分を切る、という手仕事。もちろん針と糸の作業が得意な人にはレベルが高いお人形や飾りが待っています。

きれいな布を使った手作業だけでなく、おしゃべりも楽しめます。夢中になって黙って作業する人もいます。清水さんによると、自分がしゃべらなくても、人のざわめきの中にいるのも心の健康にいいのだそうです。

この会は、月に1回日曜の午後、3月は21日13時からです。参加費はありません。ちょっと参加もOKです。

**ペイタウン☆イングリッシュ・かふえ**  
毎月第2・4月曜日。参加費500円で気軽に英会話を楽しめます。

主催はシータワー在住の中館結実子さん。子どもの頃米国に家族で移住しましたが、日本人のご主人と結婚され、日本に戻りました。その語学能力を生かし、個人からグループまで英会話の指導歴10年以上というベテランです。

テキストが決まったレッスンではないので、日常に使う表現が実践で学べます。例えば近くの温浴施設の説明をしていて岩盤浴って英語でなんて言うの、などわからないとき、中館さんがさりげなく助けてくれて、スムーズに英語で会話が進みます。外国人の参加者がいたら、英語でペイタウンのことをいろいろ教えてあげることもできますね。

海外滞在で身に着けた英語力を維持する。ペイタウンに引っ越ししたてで情報を知る。子どもづれも歓迎なので、子育ての気分転換に。それぞれの目的で活用できる場です。ドリンクやフードも別料金で用意されています。

その他に、4月11日（日）から「日曜日健康麻雀の会」も予定されています。「賭けない、飲まない、吸わない」を原則としています。麻雀は指を使い、脳を使い、適当に会話があり、認知機能向上には最高の遊びになるということ





つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

電話 296-5100

● 3月の主催講座～3月2日（火）9時受付開始

はじめてのクラシック「おとのゆうえんち」

日時：3月14日（日）

10：00～11：00

場所：打瀬公民館ホール

費用：無料

講師：フェアリーズ 森本真由美先生

対象：就学前児と保護者（先着15組）



親子で本格的マジックを楽しもう

日時：3月21日（日）

14：00～16：00

場所：打瀬公民館講習室

講師：若葉の森マジック団 畝山順一代表

対象：小学校1年生～6年生と保護者

（先着8組）

費用：無料



● 4月の主催講座～4月2日（金）9時受付開始  
初めてのトルペイントペンダントとマスク作りー

日時：4月21日（水）

10：00～12：00

場所：打瀬公民館工芸室

費用：500円（材料費）

講師：（財）日本手芸普及協会ペイント

部門元理事 北村直子先生

対象：成人（先着12名）



◇申込方法

打瀬公民館窓口または電話 296-5100

※感染状況により中止の場合があることをご承知ください。

幕張ベイタウン室内合奏団 第16回演奏会

日時：2021年3月14日（日）14：00開場 14：30開演

場所：幕張ベイタウン・コア・ホール

限定30席 入場無料

打瀬公民館の新型コロナ対策にしたがって運営します

演奏曲目：アントニーン・レオポルト・ドヴォルザーク

弦楽四重奏曲第13番ト長調 Op.106

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

弦楽四重奏曲第13番変ロ長調 Op.130

幕張ベイタウン室内合奏団 青野 岩夫

3月のコア・イベント

わくわくおはなし会 3月のお知らせ

わくわくおはなし会3月のおはなし会は、新型コロナウイルス感染予防のため、「おやすみ」とさせていただきます。再開が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

お休みの間もブログやインスタグラム、facebookでおススメの絵本の紹介や、朗読動画を掲載しています。是非チェックしてみてくださいね。

※最新情報はブログでご確認ください

ブログ更新中・見てね\*\* <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

◆お問合せ先◆ [waku2book@gmail.com](mailto:waku2book@gmail.com)

寺子屋工作ランド

「レインボースコープ」をつくらう

日時：3月27日 第4土曜日 午前9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア工芸室

にじ色の万華鏡みたいなふしぎなスコープ。なにが見えるかな。

持ってくるもの：はさみ、木工ボンド、きれいな千代紙

参加費：50円（保険料）

第198回ファティオリの会

日時：3月28日（日）午前9：30～

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファティオリ」の演奏やその他の楽器演奏をして頂けます。ただし、今回もコロナウイルス感染拡大防止対策として、歌唱、金管楽器演奏は行えません。また入場人数の制限、演奏中も換気のためホールドアを開放など新しい形での開催となります。担当者の指示に従って、ご参加頂きますようお願い申し上げます。状況により中止の場合もあります。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

申込締切：3月21日（日）

申込先：TEL&FAX 043-377-0020（秋場）

[akibakrym@yahoo.co.jp](mailto:akibakrym@yahoo.co.jp)

キュービックカフェ3月・4月のイベント・ワークショップ



毎月9日はキュービックの日！『キュービックマルシェ』

<3月> 3/9（火）

<4月> 4/2（金）、4/3（土）

いずれもコミュニティスペース絆にて。学校用布製品も並びます！

イベント最新情報はキュービックカフェホームページをご確認ください。

イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ

<https://www.cubic-cafe.com/>



3月のベイタウンかふえ ～残念ながら中止～

3月10日（水）に予定の「ベイタウンかふえ」は、皆さまの安全を最優先したいので中止にいたしました。4月にはお会いしたいです。

3月20日（土・春分の日）に予定の講演会「認知症予防の最前線」～トークショー：認知症医療と地域ケア

は、13：30からベイタウンコアにて開催いたします。詳細は各番街掲示の案内チラシ、当会のホームページをご覧ください。

問い合わせや、連絡等がありましたら、

うたせ認知症を考える会

中澤（TEL：211-0588）までどうぞ。



ベイタウンニュースの発行に協力してくだる方を募集

ベイタウンニュースの発行を助けてくれる方を募集しています。イベントや街の出来事をお知らせしてくれる方、記事を書いてくれる方、ベイタウンニュースの配布をお手伝いしてくれる方、紙面のレイアウトや編集、校正など、どんな形でものご協力でも結構です。気の向くときに、気付いたときだけのご協力でも歓迎です。

お気軽にご連絡ください。

TEL：043-211-6853、E-mail：[mazmbtn@gmail.com](mailto:mazmbtn@gmail.com)（松村）